

『農業農村整備事業』の内容

●農作物の安定した収量確保に向けた生産基盤の整備

ほ場整備事業



before

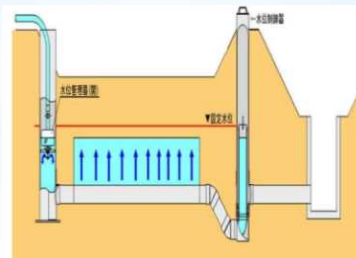
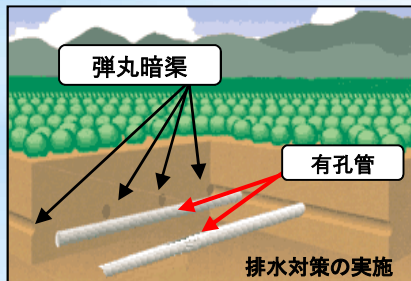


after



大型機械での作業が可能に!!

不整形で小さな農地の区画整理を行うことで、大型機械での作業が可能になり、農業の生産性向上が図られます。



地下水位制御システム



水田の汎用化による効果

大豆の生産拡大



新たな作物の導入



基盤整備によって水田の汎用化や畑地化を進め、野菜や大豆などの新たな作物を導入し、持続的な農業を目指します。

●農作物の安定した収量確保に向けた生産基盤の整備

畑地かんがい事業



農業ダムやパイプラインの整備



畑地かんがい施設の整備



露地野菜等の産地拡大



安定した農業用水の供給のため、農業用ダムやパイプライン・かんがい排水施設を整備し、畑地帯の営農体制づくりを進めています。

●農業水利施設の保全

農業水利施設保全合理化事業



老朽化した用水路



新しい用水路を整備



用水路の整備により収量の増加



土砂が堆積した素掘水路トンネル



コンクリート覆工した水路トンネル

before

after

お米や野菜がたくさん
できるようになるね!!



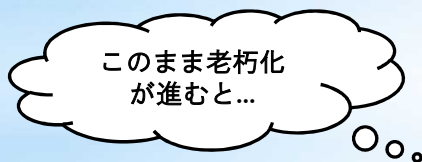
老朽化した用水路などの農業水利施設の整備・更新を進め、安定した農業用水の供給に努めることにより、農作物の収量増加や品質の向上を図ります。

●災害に強い農村づくり

ため池整備事業



大分県内のため池の約9割が明治時代以前に築造されており、老朽化による法面の浸食や漏水が発生しています。近年の集中豪雨や今後予想される南海トラフ地震などの大規模地震の発生により、ため池の決壊が危惧されています。



豪雨により決壊した、ため池



集中豪雨や大規模地震によるため池の決壊を未然に防ぐため、計画的にため池の整備や使用されなくなった、ため池の廃止を進め、下流の農地や人命および人家を守ります。

●高潮・津波等の自然災害から農地や県民の生命・財産を守っていく

海岸保全事業



陥没した堤防



亀裂が入った堤防法面

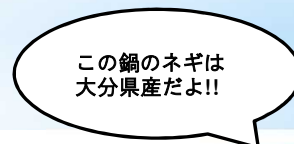
大分県内の農地海岸の背後には干拓事業によって造成された優良農地が広がっています。しかし、多くの農地海岸が造成から相当の年数を経過しており、老朽化による施設の機能低下が進行し、大規模地震の際に被害が発生する恐れがあります。



消波ブロックの設置



堤防の補強



安定した農産物の生産(西日本一の白ネギ生産地・豊後高田市)

老朽化した海岸保全施設に消波ブロックの設置や堤防の補修・補強を進め、背後地の農地を守ります。

●快適で元気に暮らせる生活環境の整備

中山間地域総合整備事業



【農業及び生活用水の供給】
農作業と生活に必要な用水を供給します。



【集落内道路の整備】
農業用車両の通行だけでなく、通学・通勤路としても利用されています。



【集落内排水路の整備】
降雨時における冠水や災害を防ぐため、集落内の雨水を排除します。



【防火水槽の整備】
農村地域の生命財産を守る防災安全施設を整備します。



【地域農業の拠点施設の整備】
農業や地域保全活動の拠点として利用する施設等の整備を行います。

中山間地域の住民が安心して快適に暮らせるよう、必要な集落道路等の生活環境施設や、集落排水施設、防火水槽等の防災安全施設を整備しています。

●農村が有する多面的機能の適切な維持保全に向けて

多面的機能支払制度



農地法面の草刈り



水路の泥上げ



地域住民による花の植栽

農村が有する多面的機能を守るため、農地法面の草刈りや泥上げ、農道の維持補修などの保全活動を支援しています。

また、農地の保全活動のほか、地域住民と協働で花の植栽を行うなど、農村の景観形成の活動を行っています。